

社会資本総合整備計画
前沢地区都市再生整備計画

平成 24 年 3 月 16 日

富 山 県 立 山 町

都市再生整備計画(第7回変更)

まえざわ
前沢地区

とやま たてやま
富山県 立山町

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	富山県	市町村名	立山町	地区名	前沢 地区	面積	268.2 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

目標

- 「住み慣れた地域で安心していきいきと暮らすことができる都市の実現」
 目標① 町民が住み慣れた地域の課題解決に貢献すること
 目標② 町民が安心して暮らせる街をつくること
 目標③ 町民がいきいきと交流し地域が振興すること

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- (町の状況)
 ・立山町は、県東部に位置する人口約28千人の町で、県中央部から東南に細長く位置し、山間部には立山連峰、立山黒部アルペンルート、称名滝などを有し、平野部には水と緑豊かな田園が広がっている。高齢化率は24.3%で今後一層の高齢化が見込まれる。公共交通機関として富山地方鉄道が町を南北に走っており、中心市街地の五百石駅をはじめ13の駅がある。
- (計画区域の状況)
 ・計画区域は、本町の中心市街地及び富山地方鉄道立山線の寺田駅から岩崎寺駅までの沿線の268.2haである。
 ・中心市街地には、富山地方鉄道の五百石駅と榎町駅の2の駅がある。五百石駅の南・西側には役場等の行政機関や高校、駅周辺・東側には前沢商店街、五百石中央商店街がある。また、榎町駅の周辺には保育所、小学校、中学校が立地している。
 ・五百石駅・榎町駅や役場等がある五百石地区は、人口が町全体の約19%を占めているものの平成8年をピークに減少傾向にあり、高齢化率が27.0%と高い。
 ・鉄道の乗降人員が昭和40年と比べると約80%減少するなど、高齢者・身体障害者・学生等にとって必要な公共交通機関の利便性の低下が危惧される。
 ・地区内には、町民交流施設として町民会館があるが、当該会館内には大ホールを除き床面積が100㎡を超える会議室等は1室しかなく100名程度を収容できる適切な広さの研修室等がない。
 ・商店街は、老朽化した店舗が多く、後継者不足や消費者ニーズの多様化、モータリゼーションの進展など、商店街単独では解決できない多くの課題がある。
- (まちづくりの経緯)
 ・町の主な事業として、定住人口の増加を図ることを目的とした五百石駅の西側での中前沢地区土地区画整理事業(地区面積:25.7ha)や町民の身近な公園として「緑とせせらぎのpromナードパーク」前沢中央公園を役場近くに整備してきた。
 ・町は平成16年度に中心市街地活性化基本計画を策定し、これを受けて商工会では平成17年度に商業タウンマネジメント計画を策定している。
 ・主な活性化イベントとして、農協・商工会等が実施する立山町特産まつり、商工会のにぎわい創出事業「まほろば夕市」、「たてやままつり」、「たてやま踊りのまち流し」、「たてやま芸能百選」、立山町農業者協議会が早朝に新鮮な朝どり野菜を販売する「朝どり市」等がある。

課題

- ボランティア活動の活発化、地域コミュニティの弱体化等に対し、地域社会に貢献し町民交流が促進される環境整備が必要である。
- 急速な人口の高齢化、慢性疾患の増加等に対し、町民が主体的な健康づくりに取り組むことができる環境整備が必要である。
- 街なかの魅力低下、公共交通の衰退等に対し、中心市街地等地域の活力が再興される環境整備が必要である。

将来ビジョン(中長期)

- 立山町総合計画において、「豊かな自然 水と緑と 人が輝く躍動のまち 立山」を目指す都市像としている。
- 都市計画マスタープランにおいて、五百石地区の中心部では、都市機能の集約化、快適な住宅環境の形成、街路等の整備・強化をすることとしている。
- 中心市街地活性化基本計画において、「立山の恵みに豊かな時が流れるまちづくり」をコンセプトとし、中心市街地の活性化を図ることとしている。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
指標1 図書館の図書貸出件数	件/年	図書の間貸出件数	地域の課題解決に貢献する情報提供・交流推進	109,000	H17	120,000	H23
指標2 保健センターの利用者数	人/年	保健センターの年間利用者数	安心して生活できる保健サービスの提供	12,000	H17	13,000	H23
指標3 交流施設の利用者数	人/年	「町民会館」と基幹事業交流施設の年間延べ利用者数	町民の活発な交流推進	53,000	H17	58,000	H23
指標4 町中心部へのアクセス道路の自動車交通量	台/日	主要地方道立山水橋線の平日12時間交通量(自動車類)	安心して生活できるアクセス環境の向上	4,249	H17	4,649	H23
指標5 地区内の歩道整備率	%	地区内の道路延長に占める歩道延長の割合	安心して生活できる歩行環境の向上	26.2	H17	27.8	H23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> 地域の情報提供や情報交流を推進する環境整備 町民一人ひとりが住み慣れた地域で主体的・創造的に生涯学習に取り組み、生きがいを見出すとともに地域の課題解決に貢献できるよう、地域の情報提供や情報交流が実践される環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 高次都市施設(基幹事業/立山町元気創造館(仮称)内町民交流センター部分) 地域創造支援事業(提案事業/立山町元気創造館(仮称)内図書館部分)
<ul style="list-style-type: none"> 誰もが安心して街なかまで移動できる環境整備 子どもから高齢者まで安心して街なかまで移動し、様々な保健や福祉の行政サービス等を受けることができるよう、地区内の道路整備や鉄道の活性化を図ることにより安全で快適な移動空間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 道路(基幹事業/街路等) 地域生活基盤施設(基幹事業/ポケットパーク) 地域生活基盤施設(基幹事業/西口駅前広場) 地域生活基盤施設(基幹事業/西口駅前駐車場) 地域生活基盤施設(基幹事業/東口駅前広場) 高質空間形成施設(基幹事業/エレベーター(西口駅前広場内)) 地域創造支援事業(提案・関連事業/立山町元気創造館(仮称))
<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地内において活発な交流ができる環境整備 全ての町民がいきいきと継続的に地域活動に参加し地域が振興するよう、中心市街地内において余暇活動や自己実現活動等を通じた地域や町民相互の活発な交流が実践される環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園(基幹事業/浦田1号街区公園) 高次都市施設(基幹事業/立山町元気創造館(仮称)内町民交流センター部分) 地域創造支援事業(提案・関連事業/立山町元気創造館(仮称))
<p>その他</p> <p>住民意向を踏まえた保健福祉総合センター（交流センター等）について 平成18年度に立山町保健福祉総合センター基本構想を策定する。 策定あたっては、町内の有識者等から構成する基本構想策定委員会を組織している。 また、委員会資料を町ホームページに掲載するなど町民に情報を提供するとともに、パブリックコメントを求めている。</p> <p>立山町総合計画 基本理念 誇りあるふるさとを愛し、力を合わせて、良い町づくりに努めます。 将来像 『豊かな自然 水と緑と 人が輝く躍動のまち 立山』 施策の大綱 ①快適な生活環境づくり ②ともに支え合う健康と福祉のまちづくり ③明日に輝く豊かな人づくり ④活力あふれる産業づくり ⑤21世紀の行財政</p> <p>立山舟橋都市計画区域マスタープラン 基本理念 雄大な自然環境の下での交流と快適な田園環境が融和するまち 目 標 ①恵まれた自然環境と共生する都市づくり ②安全で快適な生活環境を創造する都市づくり ③地域間の交流を大切にする都市づくり ④活力ある産業経済を支える都市づくり</p> <p>立山町中心市街地活性化基本計画 基本コンセプト 『立山の恵みに豊かな時が流れるまちづくり』 活性化テーマ ①健康で、健やかに生きる環境づくり ②楽しさと、柔らかな営みを行う商業空間づくり ③立山の恵みを生かす個性のまちづくり</p>	

